

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA）		
ナンバリングコード	E21201	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年／開講期	2 年／前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002423	クラス名	大西ゼミ
担当教員名	大西 貴之		
履修上の注意、 履修条件	本演習は、全員が出席し各課題に積極的に取り組むことが基本です。 無断欠席は厳禁です。やむを得ない理由で欠席する場合は、必ず事前に連絡をしてください。		
教科書	事前に指定する教科書はありません。 ただし後日相談のうで全員で講読するテキストを決定することがあります。		
参考文献及び指定図書	東京商工会議所（編）『ビジネス実務法務検定試験3級公式テキスト（2025年度版）』（中央経済社） 同『ビジネス実務法務検定試験3級公式問題集（2025年度版）』（中央経済社） 吉田利宏『元法制局キャリアが教える民法を読む技術・学ぶ技術』（ダイヤモンド社）。		
関連科目	民法ⅠA・ⅠB・Ⅱ、商法ⅠA・ⅠB、憲法A・B、労働法、行政法、フィールド・スタディⅠA・ⅠB・Ⅱ・Ⅲ、		

○基本情報		
授業の目的	本ゼミナールは、民法をはじめとする様々な法のあり方を学ぶことで、「ルールを創る力」を身につけることを目指します。 現代は変化が激しく将来の予測が困難な時代ですが、法律を含め様々なルールに「ほつれ」や「綻び」が見つかることがあります。そのようなとき、私たちは法の基礎に立ち返って自らの手で新たにルールを編み直すことが求められます。そこで必要とされるのが、「ルールを創る力」です。この力は、法律専門職だけのものではなく、行政の現場やビジネスシーンでも、規則の修正や契約内容の見直し（契約もルールです）のように、人事・営業・総務・法務などあらゆる部署で活用することができます。まさに「ルールを制する者はゲームを制する」です。	
授業の概要	本演習では、社会で生じる様々な出来事の背後にある法の問題を見定め、それに対してどのような解決策が考えられるか、また考えられた解決策が妥当かどうかを一緒に検討します。具体的には、以下の通りです。 （1）民法、特に財産法を中心に学びます。民法は、「社会生活の基本法」と呼ばれ、他の法律を学ぶための土台です。具体的な事例の検討や契約書の読み解きなど実践を想定した学習方法も活用します。商法・消費者法にも進み、現場で使えるより実践的な法的知識の獲得を目指します。 （2）カードゲームやボードゲームを使いながら、社会の具体的課題に対処するためのルールや制度について考えるワークショップを行います。 （3）法が実際に運用される現場（裁判所や税関、法務局等）を訪れ、その運用実態についてフィールドワークを行います。調査の結果を踏まえ、各機関や制度の意義や課題について検討します。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	時事や身の回りの社会課題に対して「法」に関わる側面を見出すことができるようになること		10点	10点
【知識・理解】	法的ルールや法制度について正確に理解できるようになること 法律条文や契約書などの文書を自ら読解できるようになること	20点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	自らが理解したことを整理し他者に説明し議論できるようになること		10点	10点
【思考・判断・創造】	より良いルールや制度について考え検討できるようになること		20点	

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
民法の理解を問う確認テストがあります。 提出物は報告レジュメ、調査計画書、調査レポート、期末レポートです。 参加の積極性（報告・質問など）も評価の対象です。 レジュメやプレゼンテーションの改善点や評価について毎回フィードバックします。 確認テストの要点と解説はGoogle Classroomに掲載します。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA） 大西 貴之	授業コード	E002423
学修内容				
1. ガイダンス 演習の進め方について、アイスブレイク、テキストの選定				
予習 復習				
2. 演習の基礎 発表までに準備することの確認、レジュメの作り方・ディスカッションの仕方・質問作成				
予習 復習				
3. 報告とディスカッション（1） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
4. 報告とディスカッション（2） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
5. 報告とディスカッション（3） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
6. 報告とディスカッション（4） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
7. 報告とディスカッション（5） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
8. 司法又は行政機関の実態調査の準備 訪問予定の司法又は行政機関について各自で調べたことをグループワークで共有し、各自で調査計画書を作成します。				
予習 復習				

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA） 大西 貴之	授業コード	E002423
学修内容				
9. 司法又は行政機関の実態調査 調査を実施します。				
予習 復習				
10. 司法又は行政機関の実態調査のふりかえり 調査結果をグループワークで共有し、調査レポートを作成します。				
予習 復習				
11. 報告とディスカッション（6） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
12. 報告とディスカッション（7） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
13. 報告とディスカッション（8） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
14. 報告とディスカッション（9） 報告者が事前に作成したレジュメを用いて報告し、その題材をもとに皆でディスカッションをします。				
予習 復習				
15. レポートのピアレビュー 各自でレポートを持ち寄りお互いにチェック・評価します。				
予習 復習				
16.				
予習 復習				